

Enigma FirePlusとNMAX125の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なNMAX125の整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにシートやカウルなどを取り外して下さい。ノーマル車両のシートを取り外すとシート下にECUがゴムで取り付けられています。

ECUに繋がっている48ピンカプラーに、配線を加工してEnigma FirePlusを割り込みさせて下さい。Enigma FirePlusは近くに取り付けてください。

カプラー側の配線にEnigma FirePlus配線を点火線、インジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続**します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

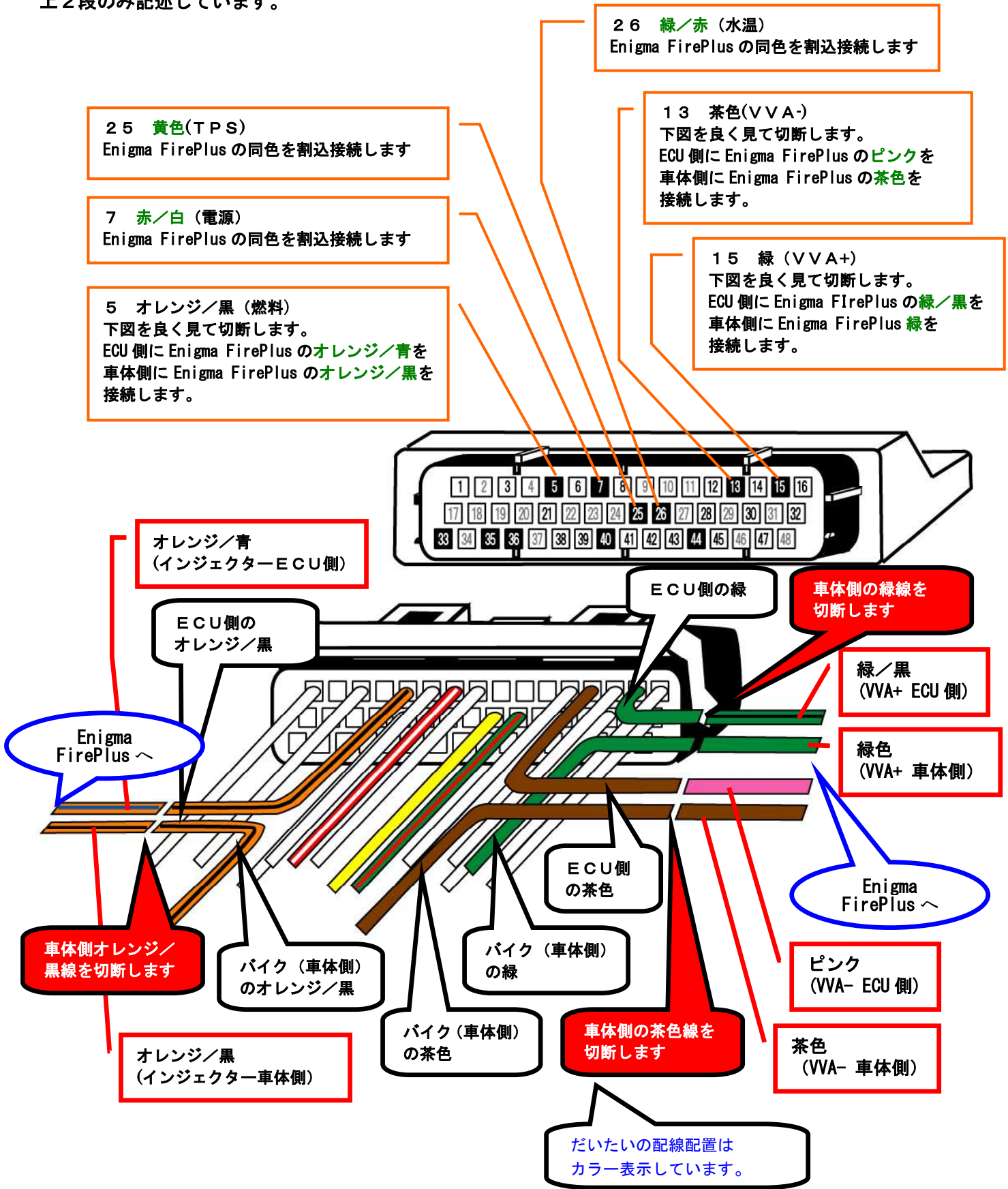
Enigma FirePlusの動作に問題が起きます。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。

RTFタイプをお使いの方は、下記の配線作業は必要ありませんので、ECUに繋がっているカプラーを外し、Enigma FirePlus RTFから出ているカプラーをECUと車体側に接続して下さい。「カチッ」とロック音がすることを確認して下さい。

- 基本的にEnigma FirePlusから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
Enigma FirePlusから接続する配線は全部で16本です。
ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ ECUの33番端子(オレンジ)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にオレンジを接続、ECU側にオレンジ/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの5番端子(オレンジ/黒)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にオレンジ/黒線を接続、ECU側にオレンジ/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの13番端子(茶)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側に茶線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの15番端子(緑)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側に緑線を接続、ECU側に緑/黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ **VACS機能をご使用にならない場合ECUの13番(茶)と15番(緑)のバイクの配線を切断せず、Enigma FirePlusの茶、緑、ピンク、緑/黒配線をそれぞれ絶縁処理してください。**
- ※ ECUの44番端子(黄/青)へ接続されている線を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側に黄/青線を接続、ECU側に黄/黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの40番端子(灰/赤)へ接続されている線(O2センサーからの信号)を切断して、Enigma FirePlusの黒線とECU側を接続して下さい。
切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ **本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。マニュアルは2ページに分かれています。どちらも配線してください。

上2段のみ記述しています。



下1段のみ記述しています。

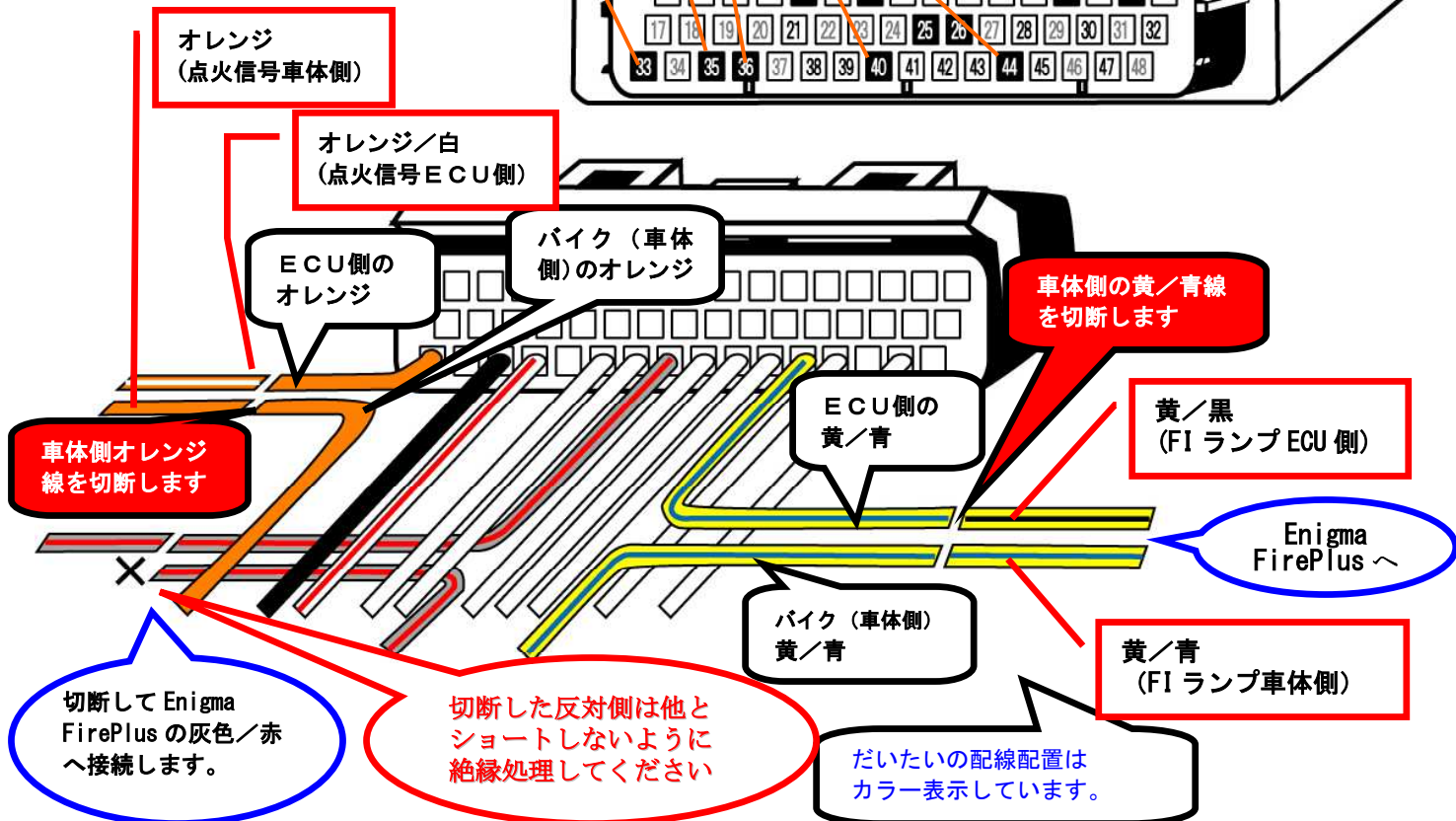
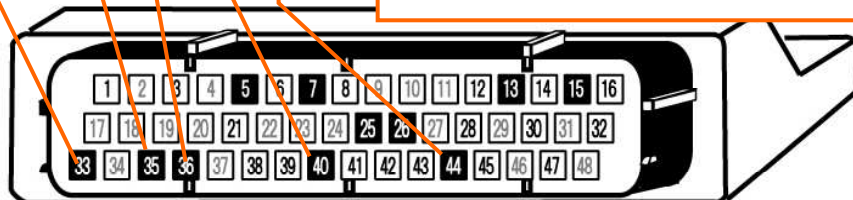
36 白/赤 (クランクポジション)
Enigma FirePlus の同色を割込接続します。

35 黒(グラウンド)
Enigma FirePlus の同色を割込接続します。

33 オレンジ(点火信号)
下図を良く見て切断します。
ECU 側に Enigma FirePlus のオレンジを
車体側に Enigma FirePlus オレンジ/白
を接続します。

40 灰色/赤 (O2)
下図を良く見て切断します。
ECU 側に Enigma FirePlus の灰色/赤を
接続します。車体側は絶縁処理します。

44 黄/青 (FI ランプ)
下図を良く見て切断します。
ECU 側に Enigma FirePlus の黄/黒を
車体側に Enigma FirePlus 黄/青を
接続します。



■ ECU端子で繋ぐのは、5、7、13、15、25、26、33、35、36、40、44の11箇所です。
上図でよくご確認ください

■ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma FirePlusはクランク1回転に1回、5Vを出力します。
市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に
応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。

■配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで Enigma FirePlus 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ヤマハダイアグノースティックツールを接続する場合は Enigma FirePlus を取り外すか、切断したバイク側の黄/青の配線を元に戻して下さい。

※ NMAX125 用 Enigma FirePlus はリプレイサー機能を持っていますが、アイドル調整機能がありません。
このため Enigma FirePlus 操作 PCソフトの REPLACER 設定、スマートフォン用アプリの ENIGMA 設定画面でアイドル調整部分は表示されません。

■ PC用 Enigma FirePlus 専用ソフトは下記当社ホームページより無料でダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※NMAX125 用 Enigma FirePlus 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の FirePlus ソフト(アプリ)や NMAX125 用や他機種の点火機能の無い ENIGMA 専用のソフト(アプリ)は接続できません。FirePlus 専用のソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの2種類あります。PRO モードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlus が初めての方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。